2026年 秋
第33号

岡つよし 県議会だより（加古郡）

発行
兵庫県議会議員　岡つよし事務所

〒675-1112
兵庫県加古郡稲美町六分一770-3
TEL:080-4398-6173
MAIL:info@oka-tsuyoshi.com

財政健全化と未来投資の両立へ



▲播磨町の戦没者追悼平和祈念式に参列。尊い犠牲に哀悼の誠を捧げました（9月26日）

街路樹や公園の木々が色づき始め、秋の香りが漂う季節を迎えました。

兵庫県議会は9月から10月中旬にかけて第376回定例会を開き、緊急対策として補正予算を決定。物価高騰に直面する家計への支援や、学校の熱中症対策などを進めています。

一方、本県は8月、地方債（借金）の発行を国が監督する「起債許可団体」に移行しました。このまま推移すれば、財政破綻が危ぶまれる早期健全化基準を超える懸念もあることから、財政指標に基づいて歳入歳出を見直し、段階的に公共投資を削減する方針です。

県政を取り巻く環境はかつてないほど厳しく、前途は不透明さを際立たせています。しかし、こうした状況だからこそ、将来世代に過度な負担を残さないための行財政改革を着実に実行し、地に足をつけて政策を見極め必要な分野にしっかりと投資していくことが重要です。

加古郡が抱える課題と常に向き合い、現場の声は一つでも多く行政に届けて政策に反映させる。その基本姿勢を徹底する決意を新たにし、財政の健全化と未来への投資の両立を図っていく所存です。



▶熱中症対策ですべての県立学校にスポットクーラーなどを導入します。写真はミスト扇風機のイメージ写真

すべての県立学校で熱中症対策
スポットクーラーなど導入

県立学校の熱中症対策として、特別支援学校と付属中学を含む**すべての県立高校159校にスポットクーラーやミスト扇風機を導入**します。

体育館や食堂などへのクーラー設置は順次進めている段階ですが、その間の臨時対応として来年度から設置できるように予算を計上しました。

はばタンPayプラス第6弾 11月中旬に開始

兵庫県議会はこのほど、「はばタンPay＋（プラス）」の第６弾や県立学校の環境充実などを盛り込んだ９月補正予算を決定しました。速やかに執行していきます。

補正予算は総額110億円で、国の財源を活用し、県の一般財源からの支出はゼロで財政に負担を生じさせていないのが特徴です。

家計を応援する「はばタンPay＋」第６弾は、最大２万円分を購入すると２万5,000円分が利用できる内容（１人４口まで）。**申し込みは11月中旬から、利用開始は12月下旬**を予定しています。

特殊詐欺の被害が昨年、件数・被害額ともに過去最多となっており対策を強化します。65歳以上への自動録音装置の追加配付（8,000台）、スマホ対策アプリの導入啓発などに取り組みます。

県立学校の専門学科（工業・農業・福祉など55校）に、高度スキルを活用する**実習用教育備品を導入**するため８億円を充てました。

９月補正予算の主な内容（総額110億円）

- 県民の安全・安心に向けた取り組み：92億円
- ひょうご家計応援キャンペーン「はばタンPay＋」：77億円
- 稼ぐ力の強化への設備投資支援事業：11億円
- 県立学校等の熱中症対策：３億円
- 特殊詐欺被害防止対策の強化：2,500万円
- 特殊詐欺被害防止の普及啓発強化：100万円
- 県立学校の環境充実：18億円
- 高等学校等教育改革促進事業：10億円
- 県立学校への産業教育設備導入：８億円

補正予算を決定 県負担ゼロで

副議長就任後 初の県政報告会
12/5(土) 稲美町コスモホールで開催

兵庫県議会副議長としての**県政報告会と特別講演会**を、12月５日㈯に稲美町立文化会館で開催する運びとなりました。改めて就任のご挨拶とこれまでの活動を報告するとともに、特別講演会を企画していますので、ぜひご来場ください。

【開催概要】
日時　令和８年12月５日（土）
14時30分～（受付14時～）
会場　稲美町立文化会館コスモホール
駐車場あり・無料
（稲美町国安1286-1）
《特別講演を予定しています！》

国への意見書などで法改正実現！「ヤード」が許可制に 罰則も



使用済みの金属や家電、プラスチックなどを屋外に保管する「ヤード」について、環境省は**規制強化**に動き始めました。**全国一律の許可制**とし、環境保全と適正な廃棄物処理の強化を図ります。

従来、こうしたヤードは廃棄物処理法の規制対象外でしたが、悪臭や騒音、汚染などの問題が全国で多発。環境省の令和７年度調査によると、全国4,625カ所で275件のトラブルが確認されており、稲美町でも大きな問題となっていました。

兵庫県議会でも令和７年３月と10月の２回にわたり意見書をまとめたり、環境大臣にお越し頂いたりし、国に法改正や対策強化を強く求めてきました。

結果、今年６月に改正法が公布され、規制の対象物品に使用済み家電、電子基板、金属スクラップ、プラスチックなどを追加。これらを保管・再生する事業者は都道府県の許可が必要となります。

許可の取得にはコンクリート舗装や分別・保管措置など**環境保全・安全対策の基準順守**が求められ、**海外への輸出は環境大臣の確認が義務**づけられます。違反した際には最大５年の拘禁刑または1,000万円以下の罰金で、法人の場合は最大３億円の罰金が科される**厳しい罰則**を伴います。

ヤード規制の全面施行は令和10年12月までに実施される予定です。

県の令和７年度決算 過去６番目規模に

県税収入は好調 過去最高の1兆280億円

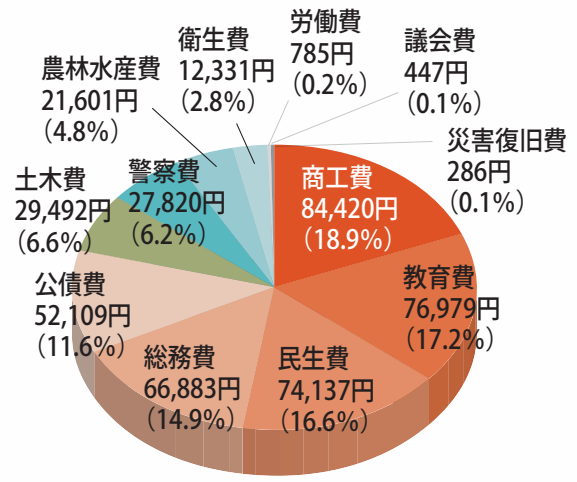
県の令和７年度決算は総額で歳入２兆3,908億円、歳出２兆3,720億円と前年度から増加し過去６番目の規模になりました。

歳入から歳出などを引いた実質収支は119億8,700万円の黒字、交付税減額などの清算後は63億3,500万円となる見込みで、**令和３年度以降で最多**になります。

背景にあるのは好調な企業業績などによる県税収入の増加で、**前年度より546億円増となる１兆280億円**に上りました。これは過去最高の税収となります。

歳出は、人件費が4,820億円（前年度比１３億円増）、社会保障関係費が3,850億円（前年度比146億円増）、借金の返済などに充てる公債費は2,756億円（前年度比60億円増）などです。

公営企業会計では、**病院事業が物価高騰などで純損益125億円の赤字**となり、水道用水など企業庁事業は純損益28億円の黒字を確保しています。



【県民一人あたりの歳出決算額（構成比）】

「起債許可団体」に移行 14年ぶり２度目

２段階で財政緊縮 公共投資10％以上減へ

兵庫県は令和７年度決算で、収入に対する借金返済額の割合を示す**「実質公債費比率」の３カ年平均が 19.2%**となり、国の許可なしに地方債（借金）を発行できない**「起債許可団体」**に移行しました。平成19年度に続いて２度目となります。

この最大の原因は、平成７年の阪神・淡路大震災にあります。**県は復旧・復興事業で約2.3兆円を負担し、うち約1.3兆円を県債で借り入れました。**この償還（返済）が長年にわたって財政を圧迫し、新たな赤字を出さないように財政運営は綱渡り状態でした。

そして令和７年度、長期金利の上昇が県財政を直撃。**毎年の利払い費用が数百億円規模で膨らみ、**潜在化していた財政危機のリスクが一気に表面化しました。

県は「公債費負担適正化計画」を策定して国に提出。段階的に実質公債費比率を引き下げる方針で、**公共投資は10%以上を抑制し、中長期的には25%未満とする考え**が検討されています。

六甲バター跡地の開発について、完成は令和10年６月以降となる見込みです。
ファストフード店、カフェなどは進出に向けて調整中とのことですのでご期待ください！

岡つよし県会議員のフォト・レポート


▲スマホ向けゲームアプリ「ため池GO！」でみんなであそぼう!

クビアカ発見・通報で商品券ゲット!!

サクラやウメなどの樹木を枯死させる、特定外来生物のクビアカツヤカミキリ。幼虫は樹木の中で活動し、木の幹や枝に開けた孔からミンチ状のフラスを排出します。県はこの**フラスを発見し、通報した件数の上位20人にデジタル商品券を贈るイベント**を実施しています。期間は来年２月12日まで。参加登録（二次元コード）が必要です。


◀フラス

参加登録フォーム▶